

【事務事業調査】

事務事業名	包括的業務委託(水道事業)		予算科目 コード	会計 - 款 - 項 - 目 - 事業
担当部課	建設産業部 上下水道課	担当 係長	業務管理担当 加藤輝夫	事業の分類 既存事業

■事務事業の概要

		何をどのような方法で実施します(実施しました)か?	どのような成果が現れます(現れました)か?
計画	H22 事後 評価	水道事業、下水道事業及び農業集落排水事業の施設の維持管理業務や運転管理業務、窓口・受付業務、料金収納業務等について、一括して民間企業に委託しました。(平成22年度～平成24年度の3年間)	施設の運営業務においては、専門性を活かした的確な対応と効率的な管理により、安定した施設運営が行なわれました。 また、金曜日19時15分までの窓口業務の延長、休日の開栓・閉栓への対応により住民の利便性が向上しました。
	H24 事前 評価	水道事業においては、上記業務のほかに営業部門全般(検針、開栓・休止、料金の賦課徴収等)についても委託しました。 長期継続契約(3年間)の最終年度になります。 水道事業、下水道事業及び農業集落排水事業の施設の維持管理業務や運転管理業務、窓口・受付業務、料金収納業務等について、受託事業者に委託します。	平成24年度においても、民間的経営手法や専門的知識が導入されることで、住民に対するサービスの更なる向上が期待できます。 料金収納業務においても、滞納整理に関するノウハウが活かされることで収納率の向上が期待できます。 また、維持管理や運転管理といった業務を一括して委託することで経費の削減が図られることとなり、各会計ともに経営の効率化が図られます。
実績			

■活動指標

指標	目標値	達成値	特記事項
年度末における 水道料金(現年度分)の収納率	99.63%		平成21年度末(22年5月末)における収納率・・・99.32% (調定額 502,146,358円、収入済額 498,738,073円) 平成22年度末(23年5月末)における収納率・・・99.60% (調定額 509,400,785円、収入済額 507,310,483円)

■事業費(計画)

【単位:千円】

細 節	金 額	積 算 根 拠
1 委託料		長期継続契約(H22年度～24年度)におけるH24年度の額
2 ・原水及び浄水費	22,943	
3 ・配水及び給水費	3,927	
4 ・総係費	25,200	
5 ・東部備水費	3,255	
6		
7		
8		
9		
10		
	55,325	

■事業費(実績)

【単位:円】

細 節	金 額	特 記 事 項
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
	0	

■事業経費

		計 画 【千円】	実 績 【円】	特 記 事 項
予 算	当初予算額	55,325		
	補正予算額			
	流用額			
	予算現額			
決 算	決算額			
財 源	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	受益者負担金			
	その他の特定財源			
	計	0		
	差引(一般財源)	55,325		